

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)

【公表番号】特表 2012-509553 (P2012-509553A)

【公表日】平成 24 年 4 月 19 日 (2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2012-016

【出願番号】特願 2011-535988 (P2011-535988)

【国際特許分類】

H 0 1 H 13/20 (2006.01)

H 0 1 H 13/06 (2006.01)

H 0 1 H 13/66 (2006.01)

H 0 1 H 13/30 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 13/20 A

H 0 1 H 13/06 A

H 0 1 H 13/66

H 0 1 H 13/30

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 31 日 (2012.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのスイッチング要素 (2) がスイッチ筐体 (3) に配置され、前記スイッチング要素 (2) が、前記スイッチ筐体 (3) から突出しスリーブ (19) 内を案内されかつ被覆要素 (4) によって被覆されたタペット (11) を含み、前記スリーブ (19) が前記スイッチ筐体 (3) の開口 (18) を介して外側に突出し、前記被覆要素 (4) が前記スリーブ (19) に接続され、前記スリーブ (19) が、取り付けられた状態で前記スイッチ筐体 (3) の外面 (3c) に当接支持される外向きに延びるつば (19a) を有し、かつ前記スリーブ (19) が、取り付けられた状態で前記スイッチ筐体 (3) の内面 (3b) に当接支持する固定リング (23) によって前記スイッチ筐体 (3) に着脱自在に保持される、昇降装置を手動で作動させるための操作装置 (1) であって、前記被覆要素 (4) がねじリング (17) に固定され、前記スリーブ (19) が第 1 雄ねじ (19c) および第 2 雄ねじ (19d) を有し、前記第 1 雄ねじ (19c) および前記第 2 雄ねじ (19d) が前記つば (19a) によって互いに分離され、取り付けられた状態で前記固定リング (23) が前記第 1 雄ねじ (19c) と係合し、取り付けられた状態で前記ねじリング (17) が前記第 2 雄ねじ (19d) と係合し、前記つば (19a) が組み立てられた状態で前記スイッチ筐体 (3) の支持面 (3c) に当接することを特徴とする操作装置。

【請求項 2】

前記スリーブ (19) が前記スイッチ筐体 (3) に対してねじれを防止するように固定されることを特徴とする、請求項 1 に記載の操作装置。

【請求項 3】

前記スリーブ (19) が、前記スイッチ筐体 (3) に配置された凹部 (25) と係合する半径方向外向きに突出する突耳 (24) を前記つば (19a) の領域に有することを特

徴とする、請求項2に記載の操作装置。

【請求項 4】

前記被覆要素(4)のねじリング(17)が、取り付けられた状態で前記スイッチ筐体(3)の外面(3c)に押し付けられることを特徴とする、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の操作装置。

【請求項 5】

前記被覆要素(4)が接続リング(4c)を持つハットとして構成され、前記ねじリング(17)が前記接続リング(4c)によって密閉され、かつ前記接続リング(4c)の一部が、前記スイッチ筐体(3)の外面(3c)と前記ねじリング(17)との間に固締されることを特徴とする、請求項1ないし4のいずれか一項に記載の操作装置。

【請求項 6】

前記スイッチ筐体(3)が、前記スイッチング要素(2)のための開口(18)の領域に、前記接続リング(4c)の下方部分に対向して位置する囲繞壁(3d)を持つ凹部(20)を有することを特徴とする、請求項5に記載の操作装置。

【請求項 7】

前記被覆要素(4)がその接続リング(4c)の領域に組立治具(21)のための外側輪郭(4f)を有することを特徴とする、請求項1ないし6のいずれか一項に記載の操作装置。

【請求項 8】

前記接続リング(4c)の前記外側輪郭(4f)が、前記囲繞壁(3d)に対向して位置する前記接続リング(4c)の領域の外側に配置されることを特徴とする、請求項7に記載の操作装置。

【請求項 9】

前記被覆要素(4)がその接続リング(4c)の領域で、前記スイッチ筐体(3)の方向に円錐状に増大するように構成されることを特徴とする、請求項1ないし8のいずれか一項に記載の操作装置。

【請求項 10】

前記接続リング(4c)が、前記ねじリング(17)の外歯と係合する内歯を有することを特徴とする、請求項4ないし9のいずれか一項に記載の操作装置。

【請求項 11】

前記被覆要素(4)が接着剤またはボンディング接続によって前記スイッチ筐体(3)に固定されることを特徴とする、請求項1ないし10のいずれか一項に記載の操作装置。